



## 6月のお知らせ

段々と暑い日が続き本格的に夏がきたら注意が必要です！



### 熱中症

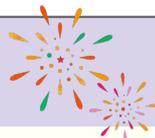


日差しが強くなり、太陽が出ている日照時間が伸びる夏においては、犬が火傷を負ったり熱中症にかかるリスクが劇的に増えます。

熱中症とは体温をうまく下げることができず、平熱を上回った状態が続いて体調不良に陥ってしまうこと。犬においては体の芯の温度(直腸温)が $41^{\circ}\text{C}$ を上回ったときに熱中症と診断されます。犬は汗をかかない分、人間に比べて体温を下げることがあまり得意ではありません。その結果、人間が「暑いなあ」くらいに感じている時、犬は「暑くて死にそう!」と感じている可能性があります。夏場の散歩は外気温や日差しの強さを確認し、日の出や日没など涼しい時間帯にずらしてあげるのが基本です。また携帯用の水は絶対に忘れないでください。熱中症における犬の死亡率は $30\sim 50\%$ と報告されています。ひとたび発症すると、昨日まで元気だったペットと突然のお別れをしなければならなくなりますので、飼い主が責任を持って確実に予防してあげましょう。

人	死ぬほど寒い!	寒い	涼しい	快適	温かい	暑い
犬	寒い	涼しい	快適	温かい	暑い	死ぬほど暑い!

### 花火と雷



夏の夜空に無遠慮に響き渡るものごつあります。1つは花火、そしてもう一つは雷です。ともに夏の風物詩ですが、犬にとってはそんなこと関係なく、恐怖の対象でしかありません。飼い主がこの事実をしっかりと把握していなければ、とんでもない事故に発展する危険性があります。

#### 犬は大きな音が怖い!

人間をはじめとする多くの動物は突発的な音に対して本能的な恐怖反応を示します。例えば、突然耳元で後ろから「ワッ!」と大声を出されると驚いて飛び上がるなどです。犬の中にもこれと同じリアクションパターンがあります。犬にとっての「ワッ!」は夜空に突然打ち上げられる花火の音や、ピカッと光った後に連れて聞こえてくる「ゴロゴロ」という不気味な雷鳴などです。そして花火の音を怖がる犬は多くの場合、雷の音も怖がるという傾向を持っています。なので、あらかじめ騒音に慣れさせたり、窓を閉め防音、念のため迷子札を付けるなどの対策が必要です。

### 6月のクーポン

ケアセットが復活!!

- ・りんご酵素温浴 皮脂汚れがよく落ちてふんわり感アップ!
- ・オゾンシャンプー 消臭・脱臭・殺菌効果アリ! 涙やけにも
- ・炭酸トリートメント 被毛に潤いと艶を与えてくれます!
- ・パウクリーム 肉球の乾燥・ひび割れケアに!

4つセットで1200円+tax(小型犬)

